

1 事業タイトル

「水俣・芦北地域における鳥獣（シカ）被害対策 Part 2」

2 事業概要

芦北町の有害鳥獣捕獲数では、平成21年度から令和2年度の11年間で、シカ14.8倍と捕獲数が急増し、シカによる造林地の被害が深刻化しています。水俣市でも同様にシカの被害が深刻化しています。近年ではシカの群れが人里まで出没し、果樹園や田畑においても被害が発生しています。シカによる被害は、主に果実を食害するイノシシと比べて葉や樹皮までも食害することから、特に柑橘栽培（甘夏・デコポン）の盛んな芦北・水俣地域においては、深刻な被害が予想されます。



自然林の被害



ヒノキ人工林被害



果樹被害（アマツ）



田畑の被害

シカ被害対策として芦北高校林業科、水俣高校機械科が、お互いの専門性を活かしてOne Teamプロジェクトを立ち上げ、鳥獣被害対策に取り組んでいます。

<水俣高校機械科の知識・技術>



箱罠の製作



くくり罠の製作



電気止めさし機の製作

<芦北高校林業科の知識・技術>



シカの習性



シカが好む樹木の知識



罠の設置技術

お互いの知識・技術を活かして芦北高校鏡山演習林に箱罠、くくり罠を設置。



箱罠の設置



くくり罠の設置



センサーカメラで管理

芦北高校の鏡山演習林では、活動をはじめた2年間で、シカ8頭、イノシシ6頭の捕獲に成功しています。